

## 会 議 録

会議名	辰野町文化財保護審議会（第2回）
開催日時	平成30年10月29日（月） 午後1時30分～午後4時30分
場所	町民会館 103号学習室
出席者	14名中 13名（審議委員9名、事務局4名）
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 教育長あいさつ</li> <li>4. 協議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 文化財保護事業 経過報告 事業計画について</li> <li>(2) 文化財パトロール結果について                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北部地区 ・ 竜東地区 ・ 竜西地区 各班より報告</li> </ul> </li> <li>(3) 樹木診断結果について</li> <li>(4) その他                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信州の特徴ある縄文土器について</li> <li>・ シダレグリ保存管理計画について</li> <li>・ 標柱の設置について</li> <li>・ 問屋屋根塗装について</li> <li>・ 『辰野町資料』について</li> <li>・ 沢尻東原遺跡発掘調査</li> <li>・ 矢彦神社社叢保存管理計画について</li> <li>・ 源上神社本殿改修について</li> <li>・ 立川市土器受け取りについて</li> <li>・ 葉王寺、明倫館床、七蔵寺周辺の修繕について</li> <li>・ 近代化遺産建物調査について</li> <li>・ 油屋調査について</li> <li>・ 町並み講演会開催</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>5. その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化財保護協会研修会について（日程のお知らせ、出欠確認）</li> <li>・ 「善光寺信仰の道」パネルディスカッションについて（日程のお知らせ）</li> <li>・ 掲額調査について（日程と調査場所確認）</li> <li>・ 明倫館のパンフレットについて（報告）</li> </ul> </li> <li>6. 閉会</li> </ol> <p>※ 文化財調査センターへ現地視察</p>
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 教育長あいさつ</li> <li>4. 協議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 文化財保護事業 経過報告 事業計画について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 文化財保護審議会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月29日：文化財パトロール（北部地区）</li> <li>・ 9月20日：文化財パトロール（竜東地区）</li> <li>・ 10月 1日：文化財パトロール（竜西地区）</li> <li>・ 10月29日：第2回文化財保護審議会</li> <li>・ 10月25日：『辰野町資料』第117号発行</li> <li>・ 11月 7日：文化財保護研修会</li> </ul> </li> <li>② 文化財保護活動                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月 7日：信州大学土本研究室油屋視察</li> <li>・ 6月 9日：油屋作業</li> <li>・ 6月17日：十一面観音拝観</li> <li>・ 6月19日：県文化財パトロール</li> <li>・ 6月21日：県史料協総会・研修会</li> <li>・ 7月14日：油屋作業</li> <li>・ 7月15日：油屋公開</li> <li>・ 7月19日：油屋調査（土本研究室）</li> <li>・ 7月24日：シダレグリ保存管理計画策定委員会</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>

- ・ 7月27日：十一面観音拝観・薬王寺見学
- ・ 8月20日：油屋調査（土本研究室）
- ・ 8月23日：十一面観音拝観
- ・ 9月 5日：JA上伊那研修対応
- ・ 9月11日：立川市土器受け取り
- ・ 9月12日：樹木診断
- ・ 9月22日：油屋作業
- ・ 9月27日：十一面観音拝観
- ・ 10月 8日：林陶社建物調査
- ・ 10月13日：油屋作業
- ・ 10月23日：箕輪屋建物調査
- ・ 11月 1日～7日：文化財保護強調週間
- ・ 11月 3日：油屋作業
- ・ 11月 8日：シダレグリ保存管理計画策定委員会  
H31年
- ・ 1月26日：第64回文化財防火デー

### ③小野宿問屋保存会

- ・ 月1回の定例公開の実施
- ・ 5月26日：見学者
- ・ 5月30日：見学者
- ・ 5月31日：見学者
- ・ 7月10日：見学者
- ・ 7月15日：見学者
- ・ 7月21日：見学者
- ・ 7月28日：第22回公民館夏季公開講座
- ・ 8月 3日：見学者
- ・ 8月 5日：夏季公開
- ・ 8月 6日：見学者
- ・ 8月23日：見学者
- ・ 9月 5日：見学者
- ・ 9月 6日：見学者
- ・ 9月12日～14日：庭木剪定（シルバー人材センター委託）
- ・ 10月 7日：初期中山道ウォーキング
- ・ 10月10日：見学者
- ・ 10月16日：研修視察（岐阜県）
- ・ 10月25日：見学者
- ・ 12月上旬：冬籠り作業
- ・ 12月下旬：しめ縄飾り付け  
H31年
- ・ 3月：役員会

### ④辰野町石造物調査会

※H29年度から有志の会となった。会活動として公民館講座「郷土を知ろう」に協力。

- ・ 4月21日：総会
- ・ 5月24日：郷土を知ろう案内（協力）
- ・ 6月14日：郷土を知ろう案内（協力）
- ・ 6月29日：役員会
- ・ 7月26日：郷土を知ろう案内（協力）
- ・ 9月13日：郷土を知ろう案内（協力）
- ・ 9月27日：郷土を知ろう案内（協力）
- ・ 10月18日：郷土を知ろう案内（協力）
- ・ 10月25日：郷土を知ろう案内（協力）
- ・ 10月26日：視察研修（山梨県）
- ・ 10月27日：上伊那郷土研究交流の集い  
H31年
- ・ 3月：役員会

### ⑤小野のシダレグリ自生地保全友の会

- ・ 月1回の手入れ作業（支障木・藪切り作業、下草刈りなど）
- ・ 7月2～4日：視察研修（岩手方面・3日間）
- ・ 7月 9日：オオハンゴンソウ駆除作業
- ・ 8月 6日：環境整備作業

H31年

- ・ 3月：総会

## (2)文化財パトロール結果について

### ● 北部地区（8月26日実施）

- ・ 山ノ神の森：パトロールで見た時は異常がなかったが、その後の風で倒れてしまった。
- ・ 金龍院のフジ：地上1m以内の幹に芯の腐れや皮の剥がれがある。何本かに分かれてサワラの木にまきついているが、根元のほうが腐食している枝もあった。巻きつかれているサワラも、いずれ弱ってしまう可能性がある。
- ・ 初期中山道の一里塚：60里はヤブのため道から見えず残念。お願いをして木を切ってもらったらどうか。
- ・ ネズミサシ：特別変わった様子なし。神社のクヌギなどを遠くから眺めたが、そちらも変わりなさそう。1本、穴の空いた木があったが、腐食が進んでいるだろうか。
- ・ 蛇石：問題なし。
- ・ トチノキ：モミジが大きくなってきていた。やがてはトチノキに影響が出てくるか？
- ・ 木地師の墓：柵が傷んでいて危険。修理が必要。
- ・ 石造宝篋印塔：コケで文字が見えない

### ● 竜東地区（9月20日実施）

- ・ 古城のケヤキ：28年度に南の大枝を切ったが、別の枝が同じように出てきていて危険。もっと下から切ったらどうか。西に別株があるが成長が早くいずれは道路にかぶりそう。近所の方からは風のある日は心配だとの声もある。何かあれば管理責任は免れない。
- ・ 法性神社：パトロールに行った委員からは「いい神域だね」との声も聞かれた。神社西側はだめになったが、南側と東側には元の様子が残っており、周辺環境の保存も大事と思う。
- ・ 御陵ヶ塚とサワラ：昨年鳥居にかぶさっていた枝が除去された。もっと手を入れたほうがいいが、所有者の人数が減っており経費の負担が重く、難しいとのこと。台風で太めの枝が2本折れた。樹勢は良く、隣接して住宅があり事故があると大変。公的補助を考えてあげたい。  
木製の標柱が折れていた。鉄製のものは丈夫であるため、文字を書き改めたらどうか。
- ・ 見宗寺山門：異常なし。
- ・ 山寺の毘沙門堂：側壁に寄付者名の木版あり。まだ記録していない。
- ・ 荒神社の社叢：ここの木々は社殿から一定程度離れており、倒木の危険からは比較的安心か。
- ・ 荒神山のヒカリゴケ：目視での生存を確認できず。指定解除に向けた手続きに慎重に入ったらどうか。（一度再生を試みてみるとか、最終の判断の時期など）
- ・ 赤羽焼の窯：昨年度もヒビの報告をあげたが、いっそうひどくなった様子。一部は落下の危険性あり。早急な対応が必要。
- ・ 辰野美術館の展示品：「県宝」の表示はあるが、「町有形文化財」等の表示がない。あってもよいのではないか。また、県宝があれば町宝があってもよいのではないか。  
全体的に説明パネルの設置に偏りがある。説明が適切で親切なものになっているか再考が必要なものがあるのでは。

### ● 竜西地区（10月1日実施）

- ・ 三輪神社：覆屋の中は変化なく、当面の問題はないと思われる。拝殿から本殿の間の回廊屋根修繕の跡なし。  
保存樹木のニセアカシア7本のうち、5本はJRにより伐採されている。老木ゆえか幹に腐りが入りキノコが目立つ。
- ・ 芝宮本殿：軒先の傷みは進んでいなかったが、スズメバチの巣を撤去した跡があり、近くを通る方が心配。

- ・ 神明神社舞台：管理状況も良く、素晴らしい舞台。県宝に匹敵する建造物。建物を建てた職人についても顕彰したらどうか。屋根にかかるモミジと針葉樹の枝は、建物の保存上早期の処理が必要。
- ・ 神明神社の社叢：植林されたヒノキは間伐が少しずつ進んでいるようで、樹間は明るくなった。アカマツの巨木は本数が減っているように思われた。
- ・ 明光寺山門：異常なし。両側の塀が馴染んできた。
- ・ 明光寺のシダレザクラ：上部は枯れているが、下のほうの枝が伸びて樹形は回復してきた。
- ・ 薬王寺のサクラ：樹木医の診断があり、樹勢が衰えた木については所有者が手入れすることのこと。
- ・ 薬王寺の仏像・座像：本堂（瑠璃殿）の雨漏りがひどい。県宝の木造仏への影響も懸念され、なんとかしたいが檀家のない寺のため資金面で難しく修繕技術者の問題もある。何か手はないか。
- ・ 宮木諏訪神社本殿：管理が行き届いていない印象あり。屋根を覆う社叢の枝等を含めた管理方法と人手が必要。
- ・ 月丘の森：以前あったマレットゴルフのコースは廃止されたようだが、元の姿に戻ったわけではなく、森としての回復は図られていない状態。
- ・ 宝篋印塔（辰野与右衛門の墓）：町指定文化財ではないが近くを通ったため確認した。上島の五輪塔なども含め、今後文化財指定も必要か。指定外のものについても覆いなど保護措置が必要なものもあるのではないか。

### ● 全体として

- ・ 表示板が汚れていて見づらい箇所があるため、次回パトロールの折には綺麗にする作業をしたらどうか。
- ・ 荒神山のミヤマシジミの文化財指定を検討したらどうか。

### (3) 樹木診断の結果について

一昨年から所有者の要望をいただいていた樹木6か所について、9月12日（水）に診断を実施。

### ● 実施樹木

- ・ 藤沢山ノ神の森・・・台風24号の影響で、モミの木が1本裂けてしまい、隣のヒノキに倒れ掛かっている状態で除伐が必要。また木が過密で競合するため、間伐が望ましい。
- ・ 矢彦・小野神社社叢・・・社叢の木々が過密であるため手入れが必要とのこと。社務所付近の木3本が空洞化して危険な状態だったため、現状変更申請を提出してもらい、伐採を実施予定。
- ・ 向山の一本松・・・樹勢良し。近隣の方が、枯れ枝が落ちてくることを心配していたが、陽光不足によるものと推察され、全体としては問題ない。枯損部を適切に切除すればよい。
- ・ 香住寺のシダレザクラ・・・一時期樹勢が弱っていたが、数年前から手入れをして回復してきた。道に張り出した枝が心配であるため、ワイヤーで張り、後継枝を育てて適正に上部を除伐して軽くすればよい。
- ・ 泉水のフジ・・・フジの隣接木がやや弱ってきているため、フジの剪定やフジ棚設置が必要。
- ・ 薬王寺のサクラ・・・上部の重い枝を伐採し、根を覆う土を除去する。他のサクラで二股に育っているものがあるが、途中で裂けて倒れる危険があるため、片側を生かして上部から伐採する必要がある。

### ● 古城のケヤキ（町指定天然記念物）について

以前から傾きが指摘されている。現在ロープをつって倒れないようにしてもらっているが、ロープが以前よりも張ってきていることが文化財パトロールで確認された。安全のため枝を落として上部を軽くするべきであるが、そうすると樹形が悪くなるため文化財の指定から外れてしまうのではないかと、との意見もある。所有者は辰野町、管理者は建設水道課であるため、何かあった場合には町の管理責任を問われる。

### 提出された意見

- ・ 早急に決断を出さないと、子ども達が木の下で集っていたりして心配。
- ・ 北の道路側の幹は根の状態も悪い。南は空洞化し、傾いている。
- ・ 元々は辰野中学校の図書館があったところの建て替えや道路・駐車場の建設などの際に何度か根を切っているはずであり、ケヤキにとって良くない。
- ・ ケヤキは伸びのいい木なので、上部を切っても脇から生えてきた枝が自然な樹形を保つものである。
- ・ 2年半前に手を入れた時は、はじめは不恰好な樹形であったが、今は普通の恰好まで戻っている。

### 結論：

古城のケヤキは櫛祭など辰野中学校のシンボルとして地域の人たちに親しまれてきた歴史もあり、残しておきたい。安全に残すためには、上部を伐採して樹形が変わってもかまわない。たとえ樹形が変わったとしても、いずれ自然に樹形が回復することも見込める。町の天然記念物の指定はそのままとする。  
→町教育委員会が、審議会からの具申書を受けて管理者である建設水道課に提出する。手当の具体的な方法は樹木医と相談しながら進めたい。

### ● 御陵塚のサワラ（町天然記念物）について

御陵塚のサワラは所有者7～8軒で管理しているが、所有者から「倒木が怖く切りたいが、金銭的負担から枝落としかできない」等の意見をもらっている。町の補助金実績としては、建造物に対する「総額の10%の補助」が挙げられるが、それだけでは所有者の負担が大きいため、もう少し手厚くできればと考えている。

### 提出された意見

- ・ 塚の上であって、根がどうなっているか心配。
- ・ 上部を軽くすればいいが。庭木などは剪定して上に伸びないようにするが、それをしてしなければ少しずつ伸びてしまう。
- ・ 宿ノ平のサイカチも倒れたが、金銭面からそのままになっている。建造物の補助金「かかった総額の10%」という手当だけでは焼け石に水。教育委員会としてそれなりの財政支援をできればと思う。
- ・ 古城のケヤキはどのような経緯で町所有となったのか？サワラについては所有者の希望はないか？  
→ 古城のケヤキは、辰野中学校のシンボルであることと、道路に面していることから街路樹とみなし町所有となったが、特例である。  
→ 所有者の具体的な希望は聞いていないが、高齢化もあり管理しきれないため、手を入れたいが財政的に断念という状況であるようだ。このままでは条件は今後も悪くなる一方。
- ・ 沢入のヤマナシ（上平出）は町の指定を解除して伐採した。サワラについては根元から伐採という話は聞いていないが、町の天然記念物である限りは町として財政支援をして残してもらおう方向性を検討したい。そのために建造物の実績を上回る補助を検討したい。

### 結論：

所有者が文化財を維持したいという意思があれば、町としてはできるだけの補助をする方向で検討したらどうか。  
→補助率を理事者と交渉する。

### (4) その他

- ・ 信州の特色ある縄文土器  
今年度、18市町村から出土した縄文土器158点が県指定文化財に一括指定された。辰野町からは樋口内城遺跡出土の「顔面把手付深鉢形土器」、窪畑遺跡出土の「深鉢形土器」など3点が指定された。（いずれも辰野美術館にて展示）  
今回の包括指定は、文化遺産群として後世に伝え残していくためであると同時に、観光資源として地域での活用も見込まれてのことであり、今後これらをどう生かしていくかについても検討していく必要がある。
- ・ シダレグリ策定委員会について  
今年度が4ヵ年計画の最終年度となる。残り2回の委員会を残している。7/24に第6回委員会を実施。保存管理計画の骨子が出来上がってきているので、それを確認しながら具体的な方策を検討しているところ。

11月8日に第7回策定委員会があり、シダレグリ保存管理の運営・運用体制をどうするか、公開・活用をどうするか等をつめていく予定。

- ・ 標柱の設置について  
以下の標柱に傷みがみられ、新調予定。  
・羽場城館跡 ・守屋貞治の石仏 ・石造宝篋印塔 ・神明神社の天狗祭り
- ・ 問屋の屋根塗装について  
2階東側の軒の部分と、上雪隠のある東屋の部分の塗装が剥げていたため、シルバー人材センターに依頼して塗装を実施した。
- ・ 『辰野町資料』について  
第117号が10月に完成。武井覚太郎の事績を顕彰する特集。すでに大きな反響をいただいている。  
118号も今年度中に発行予定。
- ・ 沢尻東原遺跡について  
これまでは年に田2枚ほどずつ試掘をしていたが、本格的な企業誘致のために、地権者の皆様との協議が済めば、来年度から本格的に調査に入ることになりそうである。  
文化系の現状の体制では対応できないため、外部からの指導者派遣について理事者と協議中。これまで文化系の職員1名でやってきており、後継の人間がいらないはずみがある。技術指導ならば、指導を受ける職員を雇うべく人員補充の要望を出し、しかるべき体制を整えてやっていきたい。
- ・ 矢彦神社社叢の保存管理計画策定について  
先の台風により、小野神社の境内で倒木による本殿の被害があった。矢彦神社の社叢も木々が過密であるため、県の天然記念物である矢彦・小野神社社叢の保存管理計画を共同で策定したらどうかと、県教育委員会から話があった。現在、塩尻市や神社総代と相談している。
- ・ 矢彦神社神楽殿の修繕  
平成30年度の事業である、屋根の下地張り作業が完成した。31年度・32年度で銅板をふき、棟と鬼板を修繕して事業完了となる。
- ・ 源上神社の修繕  
横川ダムに水力発電所を建設する事業が進行している。工事の振動が源上神社の本殿に影響する可能性があるため、事業に伴って改修できないかと、地元から南信発電事務所に要望が出された。南信発電事務所から教育委員会へ相談が来るかもしれない。可能であれば覆い屋を大きくしたり、屋根の補修をしたりできないかと思っている。
- ・ 立川市の土器  
東京都立川市から、辰野町から出土した土器が寄贈された。  
寄贈された土器は縄文中期後葉のもので、前田遺跡から出土した。7点ほど。これまでの試掘等では、前田遺跡から土器が出たことはないため、貴重な資料である。今後『辰野町資料』などで報告予定。
- ・ 薬王寺、明倫館、七蔵寺等の修繕について  
屋根の雨漏り修繕や、床の根太の修繕、樹木の枝払い等、周辺環境も含めた要望が来ている。県宝や登録文化財の建造物・周辺環境の整備について、改修の補助金は出ないが（耐火鉄筋にするような場合は出るが）何とかしたい。
- ・ 箕輪屋旅館、林陶社の建物調査について（近代化遺産調査）  
明治から戦前に建てられた建物について、国の調査が5年ほど前から実施され、今年度はその中から産業分野の建造物の詳細調査が実施された。長野県では3棟が調査対象となり、近いうちに報告書にまとめられる。  
辰野町からは、箕輪屋旅館と林陶社が選ばれており、先日、信州大学工学部梅干野教授らによる調査が実施された。林陶社などは、県の指定文化財になり得ること。辰野町ではこれまで明治以降の建物は登録文化財にしているが、町指定物件としていったらどうか。  
別件で、小野宿油屋を、同じく信州大学工学部の土本教授らが調査中。建物調査だけでなく、町並み全体の保存や、気運を高めることにも協力して下さるとのこと。

と。

- ・ 小野宿街並み講演会：11月17日（土）13：30～ 小野農民研修センターにて  
講演：信州大学工学部教授 土本俊和先生

#### 5. その他

- ・ 掲額調査  
日程・調査場所を事務局で検討し後日相談する。
- ・ 明倫館のパンフレット  
NPO法人建造物明倫館保存会でパンフレットを作成。すでに何件か見学もあった。  
今後の見学で活用するとのこと。
- ・ その他、委員から  
新町の文化財調査センターの環境について、以前から環境が劣悪であることが審議  
会でも指摘されていたが、その後の対応はどうなっているか？（夏は室温35℃以  
上、冬は氷点下の中で作業員が作業をしている件）  
→ 理事者とエアコン設置を交渉中。今年は全国的に気温が高かった。辰野町でも小中  
学校等へのエアコン設置が予定されるため、設置予定施設を総括的に把握して順次  
設置という対応になるようだ。

#### 6. 閉会

現地視察：文化財調査センター（寄贈された土器）